

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 地歴 科目 地理総合

教科：地歴 科目：地理総合 単位数：2 単位
対象学年組：第2学年 A組
教科担当者：（A組：奈良 敦史）
使用教科書：（第一学習社『地理総合』 二宮書店『高等地図帳』）
使用教材：（ワークシートなど）

教科 地歴	の目標：
【知識及び技能】	地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
【思考力、判断力、表現力等】	、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う
【学びに向かう力、人間性等】	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う

科目 地理総合	の目標：
【知識及び技能】	世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
【思考力、判断力、表現力等】	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民として、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 1章 地図や地理情報システムと現代世界 1節 地球上の世界と地図 ①目的地への行き方 ②地球上の位置 ③世界の時差 ・国家とは何かを学習し、交通・通信の発達によって、生活、社会、産業、国家間の関係がどのように変化したかを時系列で理解する	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	・地図を持たない人々の生活を想像し、地図の有用性に気づくとともに、利用しやすい工夫が現在まで続けられていることを理解できたか。 ・新聞広告や図書館の資料、インターネット検索などを用いて、身の回りの地図の活用事例について調べることができていか。 ・地球上の位置をあらわすために緯度・経度が定められたことと、地軸の傾きによる季節変化と時差の存在を理解し、科書掲載の時差の計算のワークに積極的に取り組むことで、日本の標準時における諸外国の時間と生活のようすを想像することができたか。 ・メルカトル図法、正積図法、正距方位図法の特徴と欠点を、知識として身につけるとともに、地球儀と世界地図を用いて、球面を平面に表現する際の特徴と問題点を、考えることができたか。 ・地理学習の基本的な技能として、地図の縮尺や方位に注意しながら、地図上の情報を読み解く有用性を理解できたか。 ・インターネットを使ってさまざまなウェブ地図にアクセスし、日常的に使われているGNSSやGISなど、新しい地図表現の役割を理解できたか。	○	○	○	8
	④世界地図の見方・使い方 ⑤地図から読み取る情報 ⑥デジタル化された地図 ⑦地理情報システムの活用 ・地球上の位置をあらわすために緯度・経度が定められたことと、地軸の傾きによる季節変化と時差の存在を理解し、科書掲載の時差の計算のワークに積極的に取り組むことで、日本の標準時における諸外国の時間と生活のようすを想像することができ ・メルカトル図法、正積図法、正距方位図法の特徴と欠点を、知識として身につけるとともに、地球儀と世界地図を用いて、球面を平面に表現する際の特徴と問題点を、考えることができる。 ・地理学習の基本的な技能として、地図の縮尺や方位に注意しながら、地図上の情報を読み解く有用性を理解する。 ・インターネットを使ってさまざまなウェブ地図にアクセスし、日常的に使われているGNSSやGISなど、新しい地図表現の役割を理解する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等		○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	2節 国家の結びつきとグローバル化する社会 ①国家の領域と国境 ②日本の領域とさまざまな領土問題 ③国家をこえた結びつき ④交通機関の発達と縮小する世界 ⑤情報・通信で一体化する世界 ⑥拡大する世界の貿易と物流 ⑦グローバル化と人の移動による結びつき ・日本の領域と周辺国との領土問題にはどのようなものが存在するか、理解する。 ・人・「モノ」・資本の移動による国家間の結びつきや、それらの課題を理解し、国家が自国の利益などのために結んでいる国際機関の変遷を学習する。 ・現代世界を構成する基本単位の国家とは何かを理解している。 ・日本の領域と周辺諸国との間に抱える領土問題について理解している。・主な国際機関について、歴史的背景をもとに知識として身につけ、最近の動きも理解している。 ・教科書のワークに取り組み、隣接区分国を作画することができる。 ・交通・情報・通信のそれぞれの役割や長所・短所を、知識として身につけている。 ・世界貿易の形態や課題を、知識として身につけている。 ・貿易の拡大に伴い専用船の開発・普及が進み、コールドチェーンの整備により人々の生活が豊かになっていることを理解している。 ・グラフや地図から観光などによる人の移動の推移や現状を読み取ることができる。・国家とは何かをおさえた上で、国際間の人の移動や国際貿易、国家間の結合などが活発化・複雑化していることを地図から読み取ることができる。 ・世界の領土問題には平和的に解決した事例があることを理解し、日本が抱える領土問題の解決に向けて、政府や個人として必要なことを考察することができる。 ・単に交通・情報・通信手段の発達に目を向けるだけでなく、それらがどのように地域を結びつけ、変化させているかを地図から考えることができる。 ・コンテナ取扱量の推移のグラフから、中国のコンテナ取扱量の増加した理由や背景を考察し、説明することができる。 ・訪日外国人の推移を示したグラフから、人数が急減した年の背景を考察し、その理由を話し合うことができる。・さまざまな情報手段を用いて、現在世界で起きている国境・領土問題について調べ、現状と課題をまとめることができる。 ・教科書のワークに積極的に取り組み、考えようで設定されている問いについて考察し、話し合うことができる。 ・交通・情報・通信手段の発達過程や、それらの発達による地域間の相対的な位置・距離関係の変化に、関心をもつことができる。 ・物流の発展に伴う恩恵を、身近な例を挙げながら説明することができる。 ・グローバル化の中で、人・「モノ」・資本の国際間移動の複雑化や、国家的結びつきの変化に気づき、意識づけて学ぶことができる。 ・インターネットショッピングを事例に、情報技術や物流、金融など、さまざまなサービスがかかわってくることを、実体験とともに考えようとしている。	・現代世界を構成する基本単位の国家とは何かを理解し、交通・通信の発達によって、生活、社会、産業、国家間の関係がどのように変化したかを時系列で理解できたか。 ・さまざまな情報手段を用いて、現在世界で起きている国境・領土問題について調べるとともに、日本の領域と周辺国との領土問題にはどのようなものが存在するか、理解できたか。 ・グローバル化の中で、人・「モノ」・資本の国際移動の複雑化や、国家的結びつきの変化に気づき、国家が自国の利益などのために結んでいる国際機関の変遷を自ら学習できたか。 ・単に交通・情報・通信手段の発達に目を向けるだけでなく、それらがどのように地域を結びつけ、変化させているかを地図から考えることができたか。 ・インターネットショッピングを事例に、情報技術や物流、金融など、さまざまなサービスがかかわってくることを、実体験とともに考えられたか。 ・貿易の拡大に伴い専用船の開発・普及が進み、コールドチェーンの整備により人々の生活が豊かになっていることを、具体的な実体験を通して理解できたか。	○	○	○	10	
	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等			○	○	○	12
定期考査				○	○		1
	第2編 国際理解と国際協力 1章 生活・文化の多様性と国際理解 写真から地理的環境を読み取り、世界は地理的環境の影響を受けた特徴ある景観で成り立っていることを学ぶ。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	・図書館の本やインターネットから、世界の生活・文化を示した写真を探し、写真の中にある地理的環境を読み取り、世界は地理的環境の影響を受けた特徴ある景観で成り立っていることを理解したか。 ・人々の生活様式の差異を通して、地理的環境が及ぼす影	○	○		

2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 人々の生活様式の差異を通して、地理的環境が及ぼす影響について学ぶ。 世界の自然環境は地域的に大きく異なることを、気候の面からとらえる。 世界の気候帯ごとに、どのような特徴があり、どのような生活が営まれているのかを学習する。 		<ul style="list-style-type: none"> 郷について理解できたか。 世界の自然環境は地域的に大きく異なることを、気候の面からとらえることができたか。 世界の気候帯ごとに、どのような特徴があり、どのような生活が営まれているのかを理解できたか。 	○	○	○	8
	定期考査			○	○		
	第2編 国際理解と国際協力 2章 地球的課題と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 教材 一人1台端末の活用 等 	<ul style="list-style-type: none"> 5つのPの枠組みを活用して持続可能な開発目標（SDGs）の考え方を学び地理で学習する地球的課題が教科をこえた探究的な課題につながることを理解したか。 現在、直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを、人口問題、食料問題、居住・都市問題、資源・エネルギー問題、地球環境問題といった具体的な事例を通して理解できたか。 地球的課題の解決の困難さや、地域差を学習し、その地域性に応じた取り組みが必要であることを理解できたか。 	○	○		8
	定期考査			○	○		1
3 学 期	第3編 持続可能な地域づくりと私たち	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 教材 一人1台端末の活用 等 	<ul style="list-style-type: none"> プレートテクトニクスの原理とプレート境界の種類、その周辺で見られる自然災害について理解する。 世界の大地形を大きく変動帯と安定大陸に分類する意味を理解したか。 Google Earthのように世界の衛星画像が閲覧できるアプリケーションソフトなど、GISを用いて世界のさまざまな地形的特徴を把握することができたか。 4つのプレートがぶつかり合う日本列島では、プレート境界地震と活断層地震の2つに備えなければならないことを理解できたか。 火山噴火への備えと同時に、火山とともに暮らす文化が伝統的に営まれていることを理解できたか。 	○	○	○	8
				○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計
							78